

# 北九州エアターミナル株式会社

## I 法人の概要（令和2年4月1日現在）

### 1 所在地

北九州市小倉南区空港北町6番

### 2 設立年月日

平成元年5月1日

### 3 代表者

代表取締役社長 西田 幸生

### 4 資本金

3,524,000 千円

### 5 北九州市の出資金

1,000,000 千円（出資の割合 28.4%）

### 6 役員員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	13	0	1	12
常 勤	4	0	1	3
非常勤	9	0	0	9
社 員	19	0	2	17

### 7 市からのミッション

市等との連携による路線誘致等、利用者数の増加に向けた取り組みを進め、安定的な財務状況を維持し、公共性の高い空港ターミナルビルを安全かつ快適な空間として、航空会社や航空旅客に提供する。

また、路線の拡大等、航空会社の動向に合わせ、的確な施設の増強や改造を行い、市等との連携による路線誘致に繋げる。

さらには、空港ターミナルビル内を活用し、イベントや展示を行い、地域のにぎわいの場としての役割も果たしていく。

## II 令和元年度事業実績

### 1 航空旅客

今期の日本経済は、企業収益が高水準を維持するなか、景気は緩やかな回復基調で推移していたが、2月以降は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、急激に悪化した。

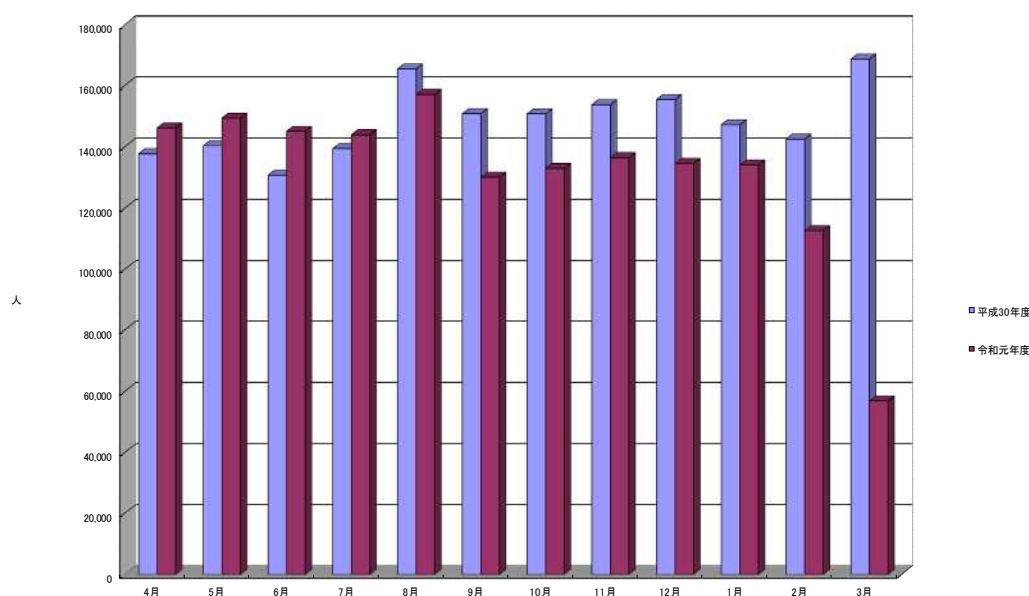
当社を取り巻く環境は、訪日外国人の増加や改元に伴うゴールデンウィーク10連休など、旅客需要が高まりを見せたものの、7月以降は日韓情勢の悪化、2月以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、旅客需要は大幅に減退した。

このような状況のもと、当北九州空港においては、国内線では、東京（羽田）線の年間旅客数は約1,259千人（前期比93.5%）となった。また、前期3月31日から新規就航したフジドリームエアラインズの静岡線の年間旅客数は、約30千人となった。沖縄（那覇）線は通年運航となったことから、年間旅客数は約66千人（前期比101.9%）となった。定期路線にチャーター便を加えた年間国内線旅客数は約1,356千人（前期比94.5%）で、約79千人の減少となった。

国際線では、韓国（仁川）線の年間旅客数は約84千人（前期比53.0%）、韓国（釜山）線の年間旅客数は約36千人（前期比43.3%）、通年運航となった台北（桃園）線の年間旅客数は約73千人（前期比259.2%）となった。また、8月17日に中国東方航空の中国（大連）線が新規就航し、年間旅客数は約12千人となった。なお、コリアエクスプレスエアの韓国（務安）線及び韓国（襄陽）線、前期11月に新規就航したティーウェイ航空の韓国（務安）線、6月に新規就航したエアプサンの韓国（大邱）線は日韓情勢の悪化等による旅客需要減退の影響を受け運休となった。定期路線にチャーター便を加えた年間国際線旅客数は、約223千人（前期比64.1%）で約125千人の減少となった。

この結果、国内・国際定期路線にチャーター便を加えた年間総旅客数は約1,579千人（前期比88.6%）で約204千人の減少となった。

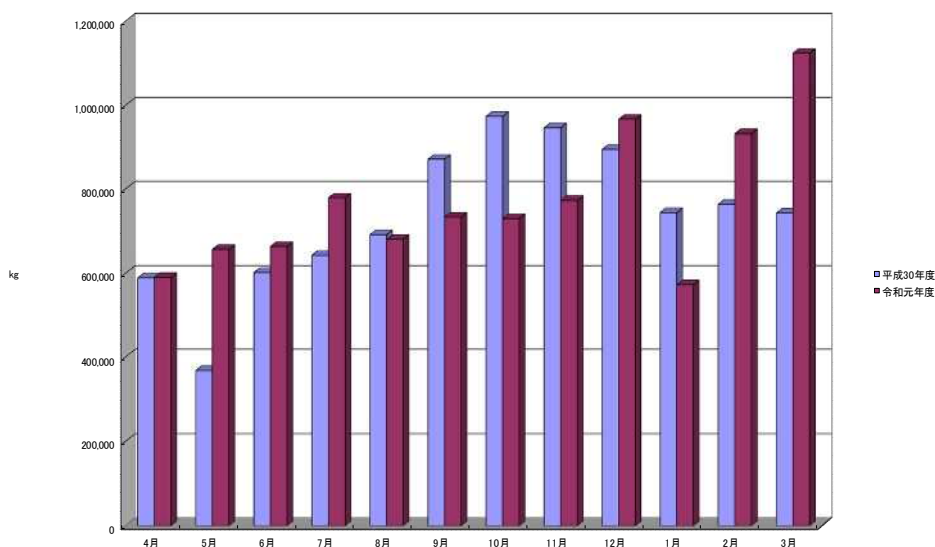
#### 【国内・国際線旅客数（合計）の推移】



## 2 航空貨物

航空貨物について、国内航空貨物の年間取扱量は、約3千7百トン（前期比88.6%）となった。また国際航空貨物は、11月30日から大韓航空のロサンゼルス→北九州→仁川線の定期貨物便が新規就航し、ANA Cargoの成田→北九州→那覇線とあわせ2路線になったことを受け、チャーター便と合わせた年間取扱量は、約5千5百トン（前期比118.4%）と増加した。国内・国際航空貨物の年間取扱量の合計は、約9千2百トン（前期比104.2%）となった。

### 【国内・国際線貨物取扱量（合計）の推移】

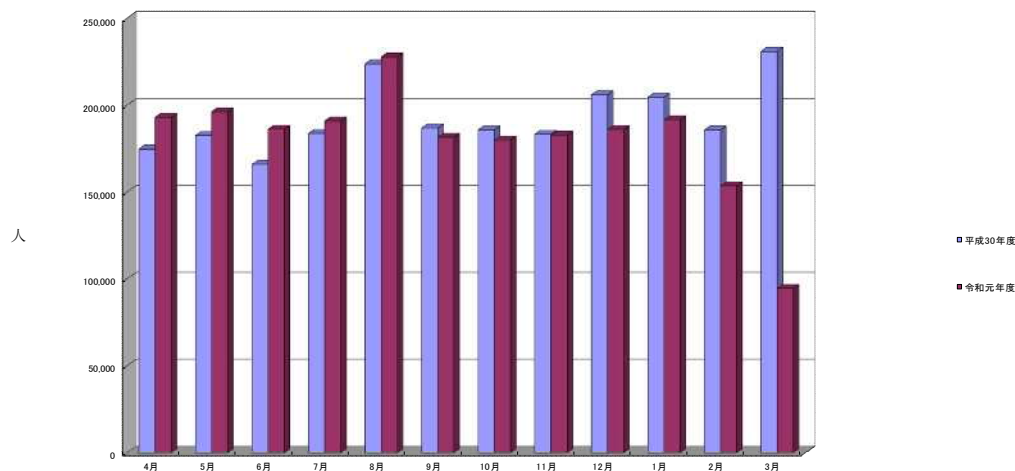


## 3 旅客ターミナルビル来館者

航空旅客に対して館内での快適な一時を過ごしていただくとともに、航空旅客以外の来館者の集客を図るため、空港周辺の自治体をはじめ、関係団体や関係者に対して、館内での作品展示やイベント等の開催を呼びかけるとともに、当社主催の四季折々を感じさせる多彩なイベントや作品展示会等を実施し、旅客ターミナルビルの「賑わいづくり」に取り組んだ。

年間のターミナルビル来館者は約2,164千人（前期比93.5%）となった。

### 【旅客ターミナルビル来館者数の推移】



【イベント実施状況】

開催時期	主 な イ ベ ン ト 名
5月	グリーンパーク「春のバラフェア」PR展示
	宮地嶽神社 菖蒲まつりPR展示
6月	幼稚園児による七夕飾り
	第32回わっしょい百万夏まつりPR展示
7月	小倉祇園まつりパネル展
7月～8月	ナイトトリップ in 北九州空港（各月1回）
8月	田川市美術館PR展示
9月	「JAL飛行機の絵」作品展示
	福岡県京築PR展示
	北九州空港まつり
10月	ゆくはし遺産絵画展
	沼楽奉納演舞
	春秋太鼓・マーチング
11月	北九州空港菊花展
	空港おいしいまつり
	「池坊」華空会 初冬の花展
	田川市美術館PR展示
12月	フレンズ幼稚園クリスマスソング披露
1月	ぜんざい振る舞い
2月	ふぐ雑炊振る舞い
	「新池坊」花展
3月	14周年感謝祭（※ 中止）
通 年	豊前街道新鮮市

#### 4 テナント売上増に向けた取り組み

入店者研修等の各種研修を実施しテナント従業員の能力向上を図った。

また、テナント店長会議において、航空会社の利用状況や、チャーター便の運航状況等を共有し、販売効率を高める努力を行った。

さらに、北九州空港テナント会と共同で、「ぜんざい振る舞い」等を開催し、お客様への日頃の感謝を込めたイベントを実施した。

#### 5 施設整備等

旅客ターミナルビルにおける利用客の利便性向上を図り、出発ロビー等館内のリニューアル一式を実施した。また、国際線用爆発物検査装置（2基）の整備を行った。更に、旅客ターミナルビル屋外にサイクルステーションの設置を実施した。

#### 6 経営状況

当社の経営については、直営ラウンジの通年営業により売上高が増加したが、2月以降は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により国内線・国際線が運休や大幅な減便となったため、設備使用料収入や家賃収入などが大幅に減少し、当期売上高は約943百万円で、前期と比較し約27百万円の減収となった。

売上原価、販売費及び一般管理費の合計は、前期に実施した旅客ターミナルビルの大規模改修に伴う減価償却費の増加、経年に伴う旅客ターミナルビルの修繕費増加等により、約930百万円で、前期と比較し約37百万円の増加となった。また、営業外収益は約34百万円、営業外費用は約2百万円となった。

以上の結果、税引前当期純利益は約45百万円で、当期純利益は約30百万円となった。

### Ⅲ 令和元年度決算

#### 1 貸借対照表

令和2年3月31日現在（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	<b>880,575,914</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>272,973,967</b>
現金・預金	813,423,512	買掛金	569,186
未収入金	60,876,280	未払金	74,940,159
商品	631,619	一年以内返済長期借入金	59,976,000
貯蔵品	1,516,604	リース債務	2,149,152
前払費用	4,127,899	未払費用	2,283,800
		未払法人税等	13,805,400
		未払消費税等	45,554,100
		前受金	27,942,507
		預り金	765,183
<b>【固定資産】</b>	<b>4,150,294,599</b>	預り保証金	5,625,480
（有形固定資産）	3,835,702,368	賞与引当金	4,363,000
建物	3,691,277,944	預り建設協力金	35,000,000
構築物	48,244,942	<b>【固定負債】</b>	<b>417,742,804</b>
工具器具備品	75,956,953	長期借入金	155,058,000
機械装置	77,205	預り敷金	28,496,400
車両運搬具	14,749,110	預り保証金	28,579,600
リース資産	4,516,214	長期リース債務	2,848,714
建設仮勘定	880,000	退職給付引当金	14,072,138
		預り建設協力金	70,000,000
（無形固定資産）	2,109,960	資産除去債務	118,687,952
電話加入権	124,984	<b>負債合計</b>	<b>690,716,771</b>
水道施設利用権	264,375	純 資 産 の 部	
供給施設利用権	1,720,601	<b>【株主資本】</b>	<b>4,364,862,368</b>
		資本金	3,524,000,000
		利益剰余金	840,862,368
（投資その他の資産）	312,482,271	その他利益剰余金	840,862,368
投資有価証券	274,863,700	繰越利益剰余金	840,862,368
出資金	300,000	<b>【評価・換算差額等】</b>	<b>▲24,708,626</b>
長期繰延税金資産	37,318,571	その他有価証券評価差額金	▲24,708,626
		<b>純資産合計</b>	<b>4,340,153,742</b>
<b>資産合計</b>	<b>5,030,870,513</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>5,030,870,513</b>

## 2 損益計算書

自 平成31年4月1日

至 令和 2年3月31日 (単位：円)

科 目	金 額	
<b>I 売上高</b>		943,179,131
売上高	45,263,017	
家賃収入	336,097,516	
管理費収入	209,651,890	
設備使用料収入	319,900,671	
広告料収入	32,266,037	
<b>II 売上原価</b>		13,060,893
<b>売上総利益</b>		930,118,238
<b>III 販売費及び一般管理費</b>		916,883,401
<b>営業利益</b>		13,234,837
<b>IV 営業外収益</b>		34,159,548
受取利息	8,144	
受取配当金	1,381,000	
雑収入	32,770,404	
<b>V 営業外費用</b>		2,172,789
支払利息	2,172,789	
<b>経常利益</b>		45,221,596
<b>VI 特別利益</b>		11,000,000
補助金	11,000,000	
<b>VII 特別損失</b>		10,999,998
器具備品圧縮損	10,999,998	
<b>税引前当期純利益</b>		45,221,598
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	17,326,698	
<b>法人税等調整額</b>	▲2,412,306	14,914,392
<b>当期純利益</b>		30,307,206

## IV 令和2年度事業計画

北九州空港が24時間運用の海上空港であるという特色を活かし、北九州地域の九州・アジアの空の玄関口として、また、人・モノ・サービスの流通拠点として、より一層飛躍・発展するように取り組んでいく。

### 1 航空旅客

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、国内外の旅客需要及び経済活動の回復の見通しが不透明なことから、国内線・国際線ともに旅客者数の大幅な減少が見込まれる。既存航空会社やテナント支援を行うとともに、行政及び団体と連携をとり、路線維持や空港機能の維持に努め、収束後の需要回復時におけるPRを実施する等、集客を進める。

### 2 航空貨物

航空貨物については、ANA Cargoと大韓航空の二社体制となった国際航空貨物定期路線の安定的な運航と国際貨物チャーター便の運航を支援するため、行政や団体と連携をとり、テント倉庫の建設や地上支援機材の整備・更新を行う。あわせて、滑走路3千メートルへの延伸について国の調査費が計上される等、実現に向けて大きく前進しており、今後とも国への要望活動を行う。

### 3 企業リスク対策

企業リスク対策については、新型コロナウイルス感染症への対応として、館内における消毒液の設置、ポスター掲示等による手洗いやマスク着用をはじめとする咳エチケット等の感染対策の要請、ロビーチェアの間隔の確保、手すり・エレベータのボタン等の消毒等を実施し、空港利用者ならびに空港勤務者の安全を図るとともに、感染拡大防止に努める。また事業継続の観点から、テレワークや事務室の分散を実施する。

### 4 整備計画

施設整備については、引き続き施設の適切な維持管理に努め、旅客ターミナルビルの利便性と快適性の向上を図る。



## V 令和2年度予算

収支予算書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日 (単位：千円)

収 入	営業収入	売上高	13,500
		家賃収入	127,000
		管理費収入	93,000
		設備使用料収入	139,000
		広告料収入	15,000
		小 計	387,500
	営業外収入	雑収入等	7,500
		小 計	7,500
		合 計	395,000
	支 出	営業費用	売上原価
人件費			114,000
減価償却費			272,000
水道光熱費			92,000
租税公課			23,000
地代			26,000
管理委託費			182,000
一般管理費			87,000
		小 計	798,000
営業外費用		支払利息等	2,000
		小 計	2,000
	合 計	800,000	
収 入 ー 支 出		▲405,000	

## VI 役員名簿

令和2年7月1日現在

役職名	氏名	現職
代表取締役社長	西田 幸生	
代表取締役専務	平床 司	
常務取締役	大脇 正人	
取締役	東 俊明	日産自動車九州株式会社 取締役常務執行役員
〃	柚須 亮太郎	九州電力株式会社 執行役員 北九州支社長
〃	澤渡 裕文	苅田町 副町長
〃	安田 堅太郎	西日本鉄道株式会社 執行役員 西鉄バス北九州株式会社 代表取締役社長
〃	砂川 浩	TOTO株式会社 総務本部長
〃	鶴岡 直樹	株式会社ゼンリン 執行役員 社長室長
〃	平尾 智賀志	ANAホールディングス株式会社 グループ経営戦略室事業推進部 上席マネージャー
常勤監査役	田中 博幸	
監査役	鹿島 英樹	行橋市 総務部長
〃	吉田 彰宏	株式会社北九州銀行 取締役監査等委員